

バクーの建物、不動産事情

バクーでは地震がほぼないため、築数十年～100年超の建物が数多く残され、それぞれに歴史を感じさせます。写真は左上から右下へ、「幸福宮殿」(1912年築の石油大富豪邸宅)、「スターリンカ」(第二次大戦後、ドイツ人捕虜により建設された堅牢な石造建物の総称)、「フルシチョフカ」(ソ連の住宅供給政策による集合住宅)、「ホワイトシティ」(再開発地域に作られた最新の住宅街)。(いずれも当館撮影)



アゼルバイジャンの経済発展に伴いバクーの不動産価格も上昇しています。場所や築年数などにより様々ですが、当地情報から一部抜粋すると、3部屋の中古集合住宅の売買相場は5.3～8.8万米ドル。新築マンションの平均販売価格は1180ドル/㎡、高額物件で5000ドル/㎡の由。当国の平均月収490ドルからはそれなりに高いようですが、金融業界(平均月収1220ドル)、石油ガス業界(同2010ドル)等の就業者がハイエンド物件の主な購買層なのでしょう。

(以上)